



ひぐuchi 英明

日本共産党
京都市議員

2016年
2月議会
報告ニュース

URL <http://higuchi-hideaki.jp/> ✉ h-hide@myad.jp  



予算特別委員会で提案

賃上げと中小業者支援の 実効ある対策を

～京都経済再生の具体策示し論戦～

▶ 公契約条例に賃金条項を

地域経済の再生には、労働者の賃上げと中小零細企業の再生の2点が最重要の課題です。課題解決に向けて京都市が直接行える施策が、京都市の公共事業の現場で働く労働者の最低賃金を決めること(=公契約条例の賃金条項の創設)です。

この条項を決めることで、①公共事業の現場で働く労働者の賃上げを行えるだけでなく、②市内業者への下請け発注の促進にもつながります。



▶ 市長は破たん済みの アベノミクスに固執

賃金条項をすでに取り入れている自治体の先進事例も示しながら、予算委員会の中で繰り返し求めましたが、市長はかたくなに拒否しています。その一方で、相変わらず企業立地促進などの大企業優遇施策を推進する立場で、すでに破たんしているアベノミクスを京都で進めようとしています。

左京区北部地域でも住み続けられる 地域づくりの推進を

～北部山間地対策の施策が一步前進～

▶ 左京北部山間地域にも インターネット光回線の予算計上



左京北部山間地のみなさんが繰り返し要望してきた光回線によるインターネット通信環境の整備が、やっと予算計上されました。

別所・花背・広河原・久多の地域では、希望者はインターネットの高速通信のサービスが2年後には使用可能になります。委員会質疑でも、できるだけ速やかな整備をと求めました。

▶ 災害対策としての山林の保全対策の推進を

この数年、林業支援という切り口でなく、災害防除という切り口での山林保全対策を求め続けてきました。というのも、左京北部では「業」としての間伐などが進まず、山が荒れ、豪雨のたびに土砂災害が起こってきているからです。

2016年度予算では「災害に強い森づくり」という予算が計上され、間伐材の切り出しなどの支援が一步前進しましたが、まだまだ不十分です。



別所での宣伝
住み続けられる地域づくりへの支援
が求められている。



↑ 3・12 バイバイ原発
左京ウォーク



左京区からも「戦争法廃止」 「原発再稼働ノー」の声が広がる

市長は、国いいなりで、安保法制=戦争法の容認・原発再稼働容認という姿勢です。左京区でも、こうした動きを阻止しようという運動が広がっています。署名やデモ行進などが次々に行われており、私もみなさんと一緒に声を広げています。

← 戦争法ノー・左京みんなのデモ

どんなお困りごとでもお寄せください

日本共産党左京地区委員会 電話: 075-761-6341